

研究課題名	間質性肺炎合併肺癌における遺伝子変異と予後の関連
本研究の目的	間質性肺炎合併肺癌における遺伝子パネル検査による遺伝子変異による抗がん剤治療や間質性肺炎急性増悪による予後への影響を検討する。
研究期間	倫理委員会承認後～2026年3月31日
調査データ該当期間	2019年6月～2024年12月
研究の方法	<p>●対象 間質性肺炎を合併した肺癌患者の中で患者カルテから遺伝子パネル検査のデータがある患者を対象とする。</p> <p>●用いる試料・情報 上記患者のカルテデータから間質性肺炎の分類を行い、年齢、性別、身長体重などの基本データ、呼吸機能検査、血液検査データを抽出する。遺伝子変異の有無、遺伝子変異毎に患者群に分け、使用した抗癌剤と全生存期間、無増悪生存期間について比較検討する。</p>
お問い合わせ先	電 話：0944-58-1122（代表） 研究責任者：井上 滋智（呼吸器内科）